

沼間小学校区地域連合会だより

発行責任者 永瀬 寿重

“地域課題への自主的、地道な取組を”

永瀬 寿重 会長（沼間3丁目自治会）

沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）の皆様、厳しい暑さの折、健康第一と考えて、そして自分の身体は自分で守る信念を持って尽くしていただきたく思います。

今回6月の市議会において、4月の市議会では否決された「地域づくり交付金」が復活承認されました。（地域づくり交付金予算については次頁をご覧ください。）当住民自治協議会は、その名称のとおり自主独立を第1の基本方針といたしまして、名称も沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）として自主運営を行ってまいりましたので、交付金の交付がなくとも皆様からの会費の範囲で活動範囲を決めて運営してまいりました。また、4月の総会において、いずれ交付金が交付された折には、臨時総会を開き、予算の修正を皆様から承認を得ることとなりました。

こうした総会決定事項に従って、7月23日に臨時総会を行い、交付金の予算に関しご承認いただきましたことに深謝いたします。皆様のご承認により活動範囲がより広く可能となりました。1つの例といたしまして、「ずし子ども0円（ゼロえん）食堂」を住民自治協議会のプロジェクトの一つとして位置付け、親の事情により「孤食」を強いられている子どもたちを中心に、仲間が集まって一時の楽しさを味わっていただく活動を追加いたしました。全国的に広まっている活動に参加できることを誇りに思っております。

総会で平成28年度の活動方針として述べた項目をひとつずつ地道に進めております。そして、こうした取組をすすめる一方で、住民自治協議会の会員の皆様に活動内容をさらに知ってもらう必要もあります。広報誌の予算も確保できましたので、広報の充実にも努めていきたいと思っています。

当住民自治協議会は、まだまだ設立後2年目でありますので、地域全体の活動を大きくはできていませんが、これからも地域全体の課題を解決できるよう心掛けてまいります。

～ 臨時総会が開催されました ～

臨時総会では、市から「地域づくり交付金」92万5千円が交付されることになりましたので、沼間小学校区地域連合会の収支予算の増額修正案を議題とし、承認されました。これにより、懸案となっていた「防災マップ」の作成作業に拍車がかかり、その他沼間小学校区地域連合会の運営の充実が図られることとなります。

（修正後の収支予算は次頁にあります。）



臨時総会での審議の様子

平成28年度収支修正予算と地域づくり交付金について

収入の部	科目	予算額 (円)	修正予算額 (円)	備考
	地域づくり交付金	0	925,000	逗子市より
	前期繰越金	106,750	106,750	前年度より
	合計	106,750	1,031,750	

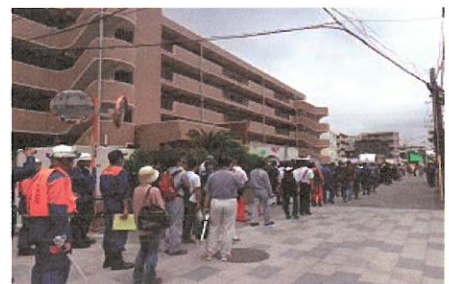
支出の部	科目	予算額 (円)	修正予算額 (円)	備考
	活動費	30,000	700,000	活動費用等 95,000 防災マップ作成 450,000
	事務費	20,000	150,000	印刷費等 地域づくり計画 155,000
	通信費	15,000	30,000	切手・郵送料
	広報費	15,000	100,000	広報誌発行経費
	会議費	20,000	30,000	会議費・交通費等
	雑費	5,000	10,000	
	予備費	1,750	11,750	
	合計	106,750	1,031,750	

【地域づくり交付金について】 (市民協働課)

地域づくり交付金は、住民自治協議会の円滑な運営及び活動を支援することを目的として交付するものです。交付対象事業としては、自主事業、共通事業及び選択事業があります。自主事業は、協議会の円滑な運営を図るための経費及び協議会が行う自主的な事業です。共通事業は、5小学校区すべての協議会が共通で行う事業として市長が定めるもので、平成28年度については地域づくり計画を策定するための経費となっています。選択事業は、協議会が市長が定める事業の中から選択して実施する事業で、平成28年度については沼間小学校区地域連合会は防災マップの作成を実施することとしています。

津波対策訓練 (防災課からの報告)

平成28年度の津波対策訓練は7月15日(金)に逗子海岸、大崎公園、JR逗子駅等を訓練会場として関係者と市民1300名が参加して神奈川県と逗子市が合同で実施しました。当日は10時00分頃に逗子市全域で地震が観測され、気象庁から巨大な津波発生のおそれがあり、10時01分に「大津波警報」が発表されたという想定で訓練が始まりました。



逗子海岸では地震発生⇒大津波警報の発表を受けて県知事と市長を先頭に逗子開成学園屋上まで避難しました。その後、海岸に戻り10時40分より海上自衛隊ヘリや関係機関の船舶による要救助者の救出救助訓練が実施されました。大崎公園では11時00分より横浜市消防局ヘリコプターによる救出救助訓練が実施され、小坪小学校の児童を始め小坪地区の皆さんが訓練の様子を参観しました

一般市民が東口に集合し、大津波警報発表時刻に合わせて駅改札を通り聖和学園第2グラウンドへ向かって避難しました。途中、ホワイトハウス前、久木トンネル入り口などのキーポイントで防災課職員から通過の際の注意点等の確認がなされ、ふれあい公園までの避難を実施しました。



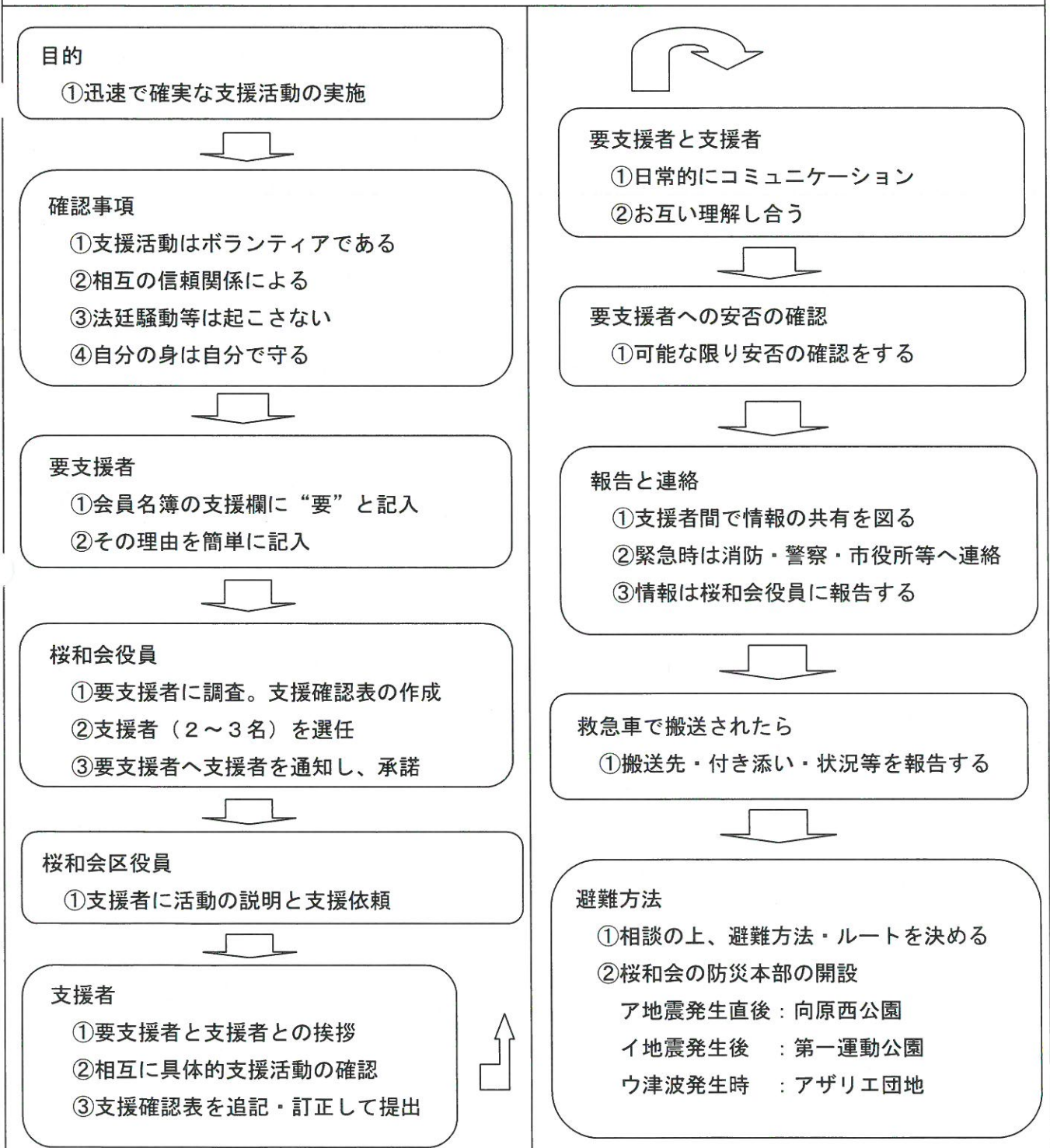
特集記事 災害時における要支援者への支援活動 ～桜和会の取組～

沼間小学校区地域連合会会員の桜和会（桜山3丁目内、100世帯、261人）では、地区内で高齢夫婦世帯や一人住まいの増加、支援を求めている方が多数いるといった現状から、平成25年から自治会員のボランティアによる支援活動のあり方について検討が進められてきました。そして、これまでの検討の成果が「支援活動の手引き」としてまとめられ、さる6月の代表者会議で情報提供されました。他の自治会・町内会でも、同様の課題があり、大いに参考となると思われますので、その概要をご紹介します。

（準備作業）

自治会員の世帯主のほか、家族の名前、性別、年齢、災害時の支援の有無、緊急連絡先等を含めた新たな名簿を作成しました。もちろん、個人情報ですので、強制はせず、情報管理は限られた役職の方に限定されているとのことです。

（「支援活動の手引き」の概要）



ずし子ども0円食堂 開店！！

沼間小学校区地域連合会のプロジェクトの一つに位置付けられています「ずし子ども0円食堂」が、6月29日（水）沼間コミュニティセンターでプレオープンしました。8月から本格的に実施されます。中心となって活動している草柳ゆき糸さんから、プレオープンの様子を報告していただきました。

（メニュー）

今回永瀬会長のお声掛けで、これまで難しかった小・中学校へチラシの配布ができたことは大きなパワーになり周知ができました。メニューは食物アレルギーが最も心配なことなので保護者の方が判断しやすい、そして子どもが大好きな「カレーライス」を主に、さらに食育も考えて「旬」の食材や、ご寄付いただいた野菜を組み合わせ、カボチャサラダ、茹でインゲン、ミニトマト、キュウリの漬物、赤紫蘇ゼリーのメニューにしました。

（スタッフ）

当日は、スタッフと地域のベテランボランティアの方々、総勢17名で準備をしました。参加自由なので数の把握はできず、心配感は増幅するばかりでした。食材の無駄は最も避けたいことです。余裕を持って60食を目安に調理しました。開始から30分で50名越えの報告が届き、予備に持ってきた野菜を増やし、急遽カレーやご飯を増量しました。ルーは100皿分の用意があったので対応できました。

（参加者）

小学生65名、中学生2名、幼児、保護者20名とスタッフで総勢104名の方が集いました。想定外の人数でしたが、和気あいあいの雰囲気ですぐ調理室からは笑い声と笑顔がこぼれていました。

（子どもたちの様子）

会場は子どもたちの熱気で室温がヒートUPでした。急遽冷房が入りましたが、熱気の方が勝っていました。また、嬉しいことに永瀬会長や沼間中学校の奥村校長が訪れて下さいました。折り紙お絵かきで遊ぶ子、ボードゲームやトランプで遊ぶ子、遊具が少なく遊べず階段や前庭で遊んでいる男児がいて目を離せない状況でしたので、男性ボランティアの存在が助かりました。

（気づいたこと）

今後の課題として、室内遊びの遊具を増やす必要性やルール作り、約束の徹底指導の必要性を感じました。子供の貧困、孤食の子どもたちへの居場所作りの目的とのギャップを感じますが、現段階は「ずし子ども0円食堂」の周知が大目標ですので、初回は成功だと思います。アンケートの結果、時々朝飯たご飯を食べない子5人、一人でご飯を食べる子が5人と現状把握ができました。



これからの主な行事

避難所運営訓練	本訓練9月24日（土） ^{9時30分} 10時～	沼間中学校
市総合防災訓練	10月1日（土）9時30分～	第一運動公園
東豆子体育祭	10月9日（日）	沼間小学校